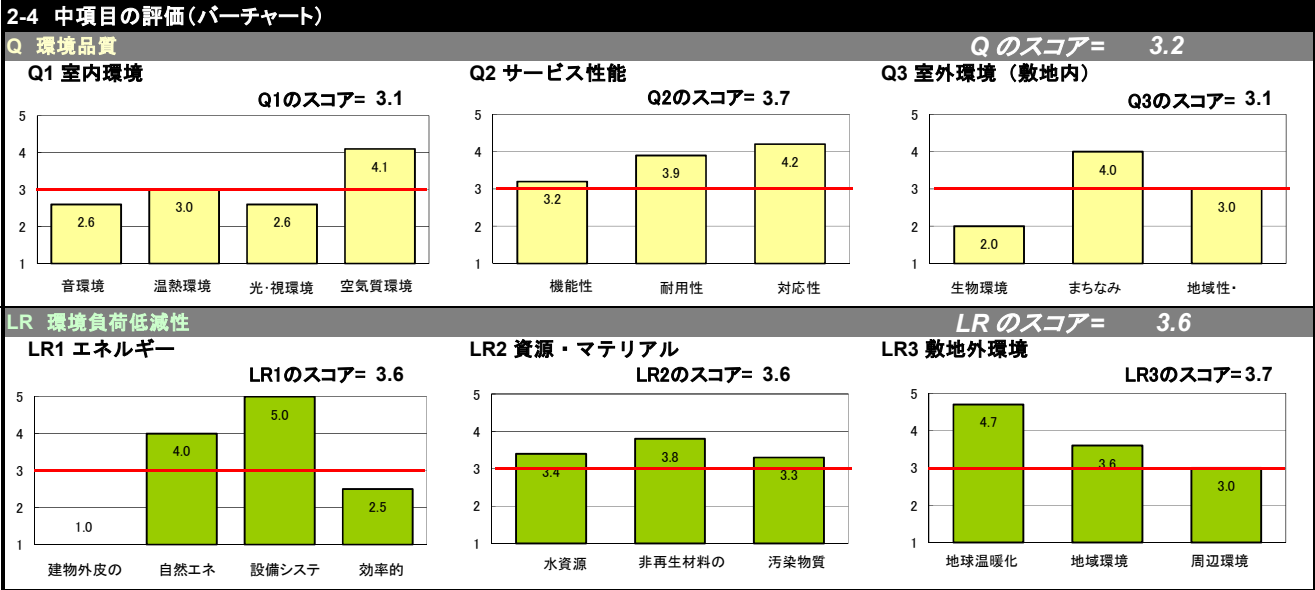
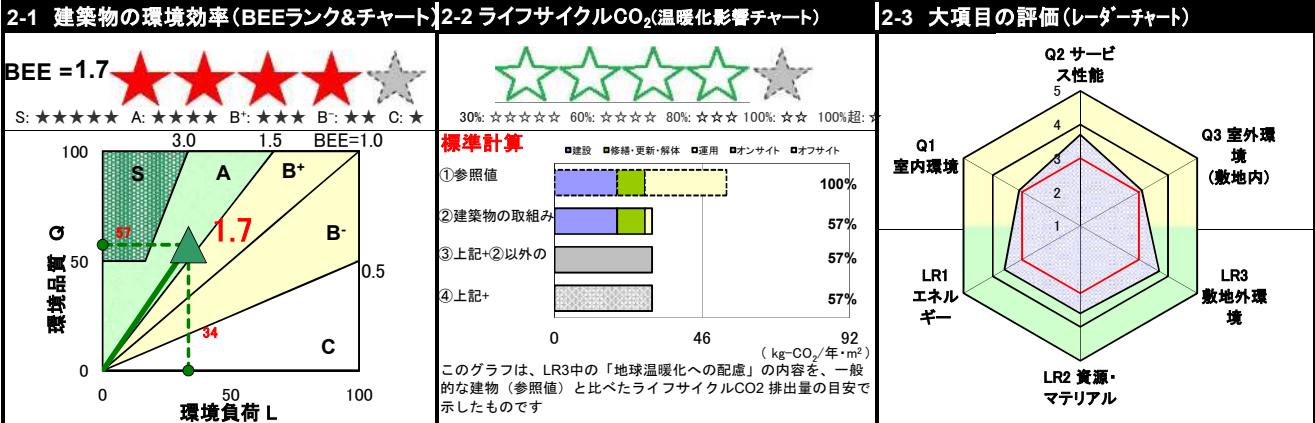


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日星電気(仮称)三方原工場	階数	地上3F
建設地	静岡県浜松市中央区豊岡町61番1号	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,500 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年6月 予定	評価の実施日	2024年9月26日
敷地面積	46,137 m ²	作成者	株式会社久米設計
建築面積	7,065 m ²	確認日	2024年9月4日
延床面積	20,188 m ²	確認者	株式会社久米設計



3 設計上の配慮事項		
総合 ・企業のアイデンティティや理念を表現し、フレキシビリティや拡張性を持った計画としている。 ・社員・ゲスト・物品等の明確な動線分離と共用部の集約により、主要な工場機能である作業室エリアを最大限に確保しレイアウトの自由度を高め、空調、照明等のバランスの良い配置計画を実現している。		
Q1 室内環境 ・室内発生音を踏まえた遮音・吸音対策を行っている。 ・外皮に面する開口部を最小限とし、適切な断熱を施すことで空調不可の低減を図っている。 ・廊下の一部に開口部を設け日中の照明点灯抑制。	Q2 サービス性能 ・ゆとりある天井高の執務空間やリフレッシュスペースの計画により、社員の快適性を確保。 ・防汚性、清掃性の高い仕上げ材の採用とともに、外壁は汚れにくいディテールを採用する等、維持管理面へ配慮。	Q3 室外環境(敷地内) ・建物は敷地境界線から引きを取った位置に配置することで圧迫感を抑え、敷地境界部を緑化することにより周辺地域へ配慮。
LR1 エネルギー ・外壁下部と屋根面に換気窓を設置し、ボイド効果による自然換気を促す計画としている。 ・井水熱利用空調システムをエントランス・喫煙室に採用。	LR2 資源・マテリアル ・内装においてリサイクル材の採用や有害物質を含まない材料の採用により地球環境へ配慮。 ・節水型衛生器具の採用	LR3 敷地外環境 ・ボイラー等の燃焼機器を使用せず大気汚染物質を全く発生しない計画としている。 ・調整池の設置により、敷地外への雨水流出を抑制。 ・駐車場・駐輪場を必要台数確保することで敷地外への負荷を低減。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1. 建物概要				
建物名称	日星電気(仮称)三方原工場	BEE	1.7	BEEランク A ★★★★★

2. 重点項目への取組み度							
重点項目		得点※/満点		取組み度		評価	
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)		3.7	/5	    		ふつつ	
”災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)		3.8	/5	    		ふつつ	
”しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)		4.0	/5	    		よい	
”緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)		3.0	/5	    		ふつつ	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上 	ふつつ 3 点以上 	がんばろう 3 点未満 	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	3.7
 ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ・室内発生音を踏まえた遮音・吸音対策を行っている。 ・外皮に面する開口部を最小限とし、適切な断熱を施すことで空調不可の低減を図っている。 ・廊下の一部に開口部を設け日中の照明灯点抑制。 ・一人あたりの換気量を30m ³ /hとしている。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ・建物は敷地境界線から引きを取った位置に配置することで圧迫感を抑え、敷地境界部を緑化することにより周辺地域へ配慮。 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ・外壁下部と屋根面に換気窓を設置し、ボイド効果による自然換気を促す計画。 ・井水熱利用空調システムをエントランス・喫煙室に採用。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ・内装においてリサイクル材の採用や有害物質を含まない材料の採用により地球環境へ配慮。 ・節水型衛生器具の採用。 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ・ボイラー等の燃焼機器を使用せず大気汚染物質を全く発生しない計画。 ・調整池の設置により、敷地外への雨水流出を抑制。 ・駐車場・駐輪場を必要台数確保することで敷地外への負荷を低減。		Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② Q-2 2 2.2 2.2.1 ③ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ⑥ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ⑦ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ⑧ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ⑨ 主要設備機器の更新必要間隔 ⑩ 生物環境の保全と創出 ⑪ 敷地内温熱環境の向上
		LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑪ 運用管理体制
		LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 ⑫ 2.2 ⑫ 2.3 ⑫ 2.4 ⑫ 2.5 ⑫ 2.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬	⑪ 節水 ⑫ 雨水利用システム導入の有無 ⑬ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑭ 材料使用量の削減 ⑮ 既存建築躯体等の継続使用 ⑯ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑰ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑱ 持続可能な森林から産出された木材 ⑲ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑳ 有害物質を含まない材料の使用 ㉑ 消火剤 ㉒ 断熱材 ㉓ 冷媒
		LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点	3.8
 ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ・建物重要度係数1.5で設計。 ・地震に配慮した設備機器の硬固な据付け、支持に配慮。		Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑰ 免震・制振性能 ⑱ 空調・換気設備 ⑲ 給排水・衛生設備 ⑳ 電気設備 ㉑ 機械・配管支持方法 ㉒ 通信・情報設備
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点	4.0
 ■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) ⑳4m以上の十分な階高設定。 ㉑耐力壁の無いフレキシブルなレイアウトが可能な空間構成。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮) ㉒中庭や中庭に面した3層吹き抜け空間により、内部と外部を視覚的につなげ、光の入る空間づくり。		Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑯ 3 3.1 3.1.1 ⑰ 3.1.2 ⑱	⑯ ユニバーサルデザイン計画 ⑰ 階高のゆとり ⑱ 空間の形状・自由さ
		Q-3 3 3.1 ⑲	⑲ 地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	3.0
 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ㉒敷地境界から十分なセットバック距離を確保。 企業のアイデンティティを外装デザインとして表現し、工場らしさを無くす配慮。 主要幹線道路から屋上の設備機器等が見えない計画。 ■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮十分な隣棟間隔確保により隣棟間隔指標Rw14.23とした。		Q-3 1 ⑤ 2 ⑥ 3 3.2 ⑥	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ まちなみ景観への配慮 ⑦ 敷地内温熱環境の向上
		LR-2 2 2.5 ⑫ LR-3 2 2.2 ⑮	⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑮ 温熱環境悪化の改善